

Toyota Municipal Museum of Art Press Release

豊田市美術館 プレスリリース

2026.07.08



Toyota
Municipal
Museum
of Art

豊田市美術館



井田照一《Tantra No.1》1962年 豊田市美術館蔵

没後20年 井田照一展

IDA Shoichi 20 Years After His Passing

豊田市美術館

2026年10月24日[土]—2027年1月24日[日]

開館時間： 午前10時-午後5時30分(入場は午後5時まで)

休館日： 月曜日(11月23日、1月11日は開館)、年末年始2026年12月28日-2027年1月4日

主催： 豊田市美術館

協力： イダ ショウイチ スタジオ

会場： 展示室8

観覧料

	一般	高校・大学生	中学生以下
当日窓口販売	1,300円	1,000円	無料
オンライン販売	1,100円	800円	

*前売券及び20名以上の団体は当日料金から200円割引

*同時開催の長谷川繁展も見られるお得なセット券を販売します(オンライン限定)。

一般: 2,000円、高校・大学生: 1,500円

*前売券販売所、セット券詳細、その他観覧料の減免や割引等については、当館ウェブサイトをご確認ください。

開催趣旨

1960年代より独自の表現で版画家として脚光を浴び、実験的な作品を次々に発表したことで知られる井田照一(1941-2006)。その創作活動は版画にとどまらず、油彩や水彩、立体、インスタレーションなど広範にわたります。

1960年代には独特なフォルムと鮮やかな色彩の版画で注目を集めた井田は、薄紙や紗布に図像を刷り、何層も重ねる試みを経て、1970年代半ばには紙の両面に図像を刷る表現にいたりました。版と紙(垂直の力と水平面)が出会う場を表面とするコンセプト「Surface is the Between (表面は間である)」は、その後井田の幅広い作品群へと昇華されていきます。

豊田市美術館では2004年に回顧展「井田照一 版画の思考」を開催し、版画を軸に初期作品から最新作までを紹介しました。作家の没後20年を機に開催する本展では、井田照一の多彩な版画はもとより、初公開作品を含む油彩、水彩、ペーパーワーク、陶、ブロンズ、布のほかさまざまなメディアによる作品も多数展示します。垂直の力と水平面が出会う場としての版画だけではなく、重力により紙の表面に窪みや穴を物理的に穿ち、ブロンズや陶の表面を押し、または内部を抉ることで新たな表面を生み出すなど、作家の行為が時間軸にそって変化する面の重層として生まれる作品と対峙したとき、仮想と架空が日ごと色濃くなる現代に生きる私たちは何を見出すでしょう。

豊田市美術館所蔵の初期から晩年までの作品を通して、多領域に拡大していった作家の活動をあらためて振り返ります。そして今回、作家の生きた軌跡ともいべき作品《Tantra》の全点展示をおこないます。井田がまだ学生だった1962年から亡くなる2006年まで制作を続けた401点からなる《Tantra》は、定まった矩形と円が描かれた支持体に、多種多様な素材技法を用いたミクストメディア作品です。無限に変化していく自らを確認するために必要な行為として、井田は日記のように《Tantra》を制作しました。《Tantra》の全点展示は、活力にあふれた青年期から、病のなか制作に打ち込んだ最晩年まで、井田自らによる「人生の図解」を目にする貴重な機会です。

本展を通じて、垂直と水平との間に生み出された多様な作品世界に触れ、奇才・井田照一の思考について思いをはせる機会となれば幸いです。

井田照一略歴

1941年、京都市に生まれる。1965年、京都市立美術大学西洋画科専攻科修了。1968年、「フランス政府留学生選抜毎日美術コンクール」大賞を受賞し、パリに留学(-70)。その間にパリとニューヨークで個展を開催。1975年、第11回リュブリアナ国際版画ビエンナーレでリエーカ近代美術館賞、ジャパンアートフェスティバルで優秀賞。1976年、第10回東京国際版画ビエンナーレで文部大臣賞。1980年、第8回クラクフ国際版画ビエンナーレでポーランド名誉賞。1986年、ロバート・ラウシェンバーグとともに日米文化交流名誉賞。1989年、サントリー美術館大賞展大賞。2004年、紫綬褒章を受章。2006年、京都市で歿。享年65。

展示点数

約480点

見どころ

・豊田市美術館蔵の作品で辿る多彩な活動

版画家として知られる井田照一。しかし後年その活動が、油彩や水彩、ペーパーワーク、陶、黒陶、ブロンズ、布、インスタレーションなど多岐にわたることはあまり知られていません。初公開作品を含む、1966年から2006年までの豊田市美術館の所蔵品を通じて、井田の活動を通期でまとめてご覧いただけます。

・作家の生きた軌跡《Tantra》一挙展示

豊田市美術館は、井田がまだ学生だった1962年から亡くなる2006年まで制作され続けた《Tantra》401点を所蔵しています。活力にあふれた青年期から、病のなか制作に打ち込んだ最晩年まで、井田は我が身をうつすように《Tantra》を制作しました。1962年から2006年までに制作された401点一挙公開は初めての試みです。

・《Tantra》一有限の画面に広がる無限の宇宙

《Tantra》は、定まった矩形と円が描かれた同一サイズ(32.2×21.2cm)の支持体に、水彩やグワッシュ、リトグラフなどとともに、骨や石、種、綿花、涙、煙など多種多様な素材を用いたミクストメディア作品です。常に変化していく自らを確認するように残された一点一点が井田の無限の思考そのものです。一堂に会した膨大な《Tantra》の単体と集合により、作家の思考の立体的な紹介を試みます。

関連事業

記念トーク 「作家の思い出を語る」

2026年10月24日(土) 午後2時-

講師：松尾栄太郎(現代美術家 故 井田照一アシスタント)

場所：展示室8

※参加には当日の井田照一展観覧券が必要です。

記念講演会 「井田照一《Tantra》を読み解くー物質・技法・変化」

2026年11月28日(土) 午後2時-

講師：田口かおり(修復家、京都大学大学院人間・環境学研究科准教授)

場所：美術館講堂

担当学芸員によるギャラリートーク

2026年11月14日(土)、12月5日(土)、2027年1月9日(土) 各日午後3時30分-

※参加には当日の井田照一展観覧券が必要です。

お問合せ

豊田市美術館 〒471-0034 愛知県豊田市小坂本町8丁目5番地1

HP: <https://www.museum.toyota.aichi.jp> e-mail: bijutsukan1@city.toyota.aichi.jp

- 展覧会に関すること 西崎、成瀬 Tel 0565-34-3131
- 掲載依頼・取材等に関すること 西本、佐崎 Tel 0565-34-6748

没後20年 井田照一展



Toyota
Municipal
Museum
of Art
豊田市美術館

広報用画像について

当館ウェブサイト「広報用画像ダウンロード」申込みフォームより、ご希望の画像を申請してください。
「広報用画像ダウンロード」の画像提供サービスは、パソコンでのみダウンロード可能となります。
パソコンをお持ちでない方は、以下を記入のうえ、Faxでお送りください。

送り先：豊田市美術館 西本、佐崎

Tel 0565-34-6748 Fax 0565-36-5103

e-mail:bijutsukan1@city.toyota.aichi.jp

お名前 様 住所

Tel

e-mail

必要な画像等の番号

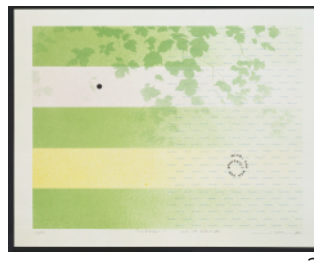
掲載紙／メディア名 発売、放送予定日 月 日 (月号、vol.)



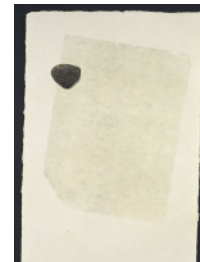
1



2



3



4



5



6



7



8



9

1. Week Day 1966年
 2. Pansy - No.3 1969年
 3. Noon 1970年
 4. Surface is the Between-Between Vertical and Horizon-"Stone, Paper and Stone" 1976年
 5. Surface is the Between-Between Vertical and Horizon-Descended Triangle-Circle 1987年
 6. Paper Drums 1987年
 7. Surface is the Between-Descended Level-Between Vertical and Horizon-Landscape in Fossil and Locus-"Dried Fall-Rice Field" 1990年
 8. Tantra No.1 1962年
 9. Tantra No.214 1997年
- 全て豊田市美術館蔵

資料の使用には以下の点にご注意ください。

- ・作品写真のトリミング、文字のせはご遠慮いただき、所蔵先も表示してください。
- ・ご紹介いただく場合は、情報確認のためお手数ですがゲラ刷り等をお送りください。
- ・情報掲載後、献本または公開後の報告をお願いします。
- ・本展の紹介でのご使用後は、各メディアの責任のもと画像データを削除破棄してください。

美術館使用欄 画像提供の依頼日 年 月 日 画像送付 校正 修正 配信・配本